

「瀬田川洗堰」の操作と天ヶ瀬ダムとの連携を学ぶ

琵琶湖河川事務所

瀬田川洗堰の操作は、どのような基準でどのように判断して行われるのか？ 天ヶ瀬ダムとの関係は？ 全閉操作や全開操作とは？ 操作規則策定までの道のりは？…操作で抱える課題とその解決方法は？…などなど知っているようで知らない様々な瀬田川洗堰の「なぜ」「どうして」などについて、理解や認識の共有を図ることを目的として、河川伝承会2名を講師として琵琶湖河川ゼミナールを開催しました。

また、今年の出水対応を振り返り、過去の出水対応の経験などを踏まえた天ヶ瀬ダム、瀬田川洗堰の操作に関する意見交換も実施しました。

概要

○日時：平成29年12月1日（金）10:00～12:00

○場所：ウォーターステーション琵琶 交流スペース

○主催：琵琶湖河川事務所

○参加者：近畿地方整備局（河川部、淀川河川・淀川ダム統合管理・琵琶湖河川・大戸川ダム工事・足羽川ダム工事 各事務所 38名）

水資源機構 琵琶湖開発総合管理所 11名

合計49名

講師：河川伝承会

岡村 政彦 氏

（元淀川ダム統合管理事務所所長
・河川情報管理官）

<講義内容>

天ヶ瀬ダムから見た
瀬田川洗堰との連携操作

北野 正朗 氏

（元琵琶湖河川事務所副所長
・河川保全管理官）

<講義内容>

「瀬田川洗堰」の操作と
天ヶ瀬ダムとの連携について



ゼミナール開催状況

意見交換会の様子



淀川ダム統合管理事務所職員

水資源機構職員

○主な意見等

- ・これまで経験したことがない洪水はいつでも起こるとの認識のもと、関係者が合同で訓練を行うなど、今後もより一層、上下流の連携体制の構築が重要と再認識した。
- ・琵琶湖沿岸の土地利用変化と琵琶湖水位の関係などを常に把握しておくことが必要。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所 調査課
〒520-2279 大津市黒津4-5-1 TEL 077-546-0844



アクア琵琶は
今年で開館
25周年！！

